

Title	癌と人 第19号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 1992, 19
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23986
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

第19号 目次

◎ 題 字 ◎

財団法人 大阪癌研究会
理事長 千代賢治
(住友生命保険(相)取締役会長)



* 表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気(癌)の格好が蟹に似ていたのをそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスという言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス(蟹)という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

- ごあいさつ…………… 1
千代賢治
- 医療は大きく変わろうとしている… 2
田口鐵男
- 老健法にとり入れられた大腸癌検診…………… 5
藤田昌英
- 増えつつある大腸がん
— 大腸内視鏡検査とその前処置について —
…………… 12
太田潤
- 癌に対する免疫療法の現況と展望
— 微研外科における治療法を中心として —
…………… 15
木本安彦
- 胃癌治療の移り変わり…………… 17
阪本康夫
- 老人保健法と大腸がん…………… 21
奥山也寸志
- 乳癌に対する乳房温存手術…………… 24
下妻晃二郎
- 社会復帰へ退院後三年目を迎えて…………… 27
T生
- 平成3年度事業報告……………大阪癌研究会…29
- 財団法人大阪癌研究会寄附行為……………31
- 本会役員・評議員・賛助会員名簿……………34
- 平成3年度寄附者御芳名……………39
- 集団検診(乳がん、便潜血反応検査による大腸がん)のお知らせ……………40